

## ART DIVERSEUM

### 草間彌生展 PUMPKIN FOREVER

フォーエバー現代美術館では、開館 2 周年を記念し、第 2 回の草間彌生氏の個展を開催します。草間彌生氏は、世界で最も高く評価される、国際的な現代美術作家の一人です。当館では、草間氏の作品を主要コレクションとし、絵画、彫刻、版画などその代表的作品を含む約 300 点が収蔵されています。

本展では、2007 年 11 月に当館コレクションのために特別制作された、南瓜をモチーフとしたキャンヴァス作品の中でも最大級となる新作の 100 号の作品「A PUMPKIN」をメイン会場である美術館にて初公開します。また、直径 5m という最大規模の南瓜の立体野外彫刻作品「南瓜」を特設会場にて展示します。

私の南瓜への思いが続く限り、  
私は南瓜を描き続けるだろう。  
どんなに大きな啓示を私に与えようか。  
これまで南瓜は私の心だった。  
(「かぼちゃ」草間彌生版画集)

と語るように、南瓜は草間氏のライフワークを通じて、最も頻繁に描かれたテーマでした。その代表的なモチーフの一つである南瓜に焦点を当て、副題を「PUMPKIN FOREVER」とし、草間氏の原点としての南瓜のモチーフの多様な展開と、南瓜というモチーフから派生した様々な表現展開による作品を発表します。

また、フォーエバー現代美術館では、高齢者施設との連動企画を行うことを ART DIVERSEUM (アート・ディヴァージウム) と称して展開しています。ART DIVERSEUM には、二つの目的があります。一つは、アートという文化を積極的に社会に還元していこうとする地域社会貢献としての目的。もう一つは、美術展の会場として利用することで、日常社会から閉ざされた施設に社会を取り込み、高齢者施設の社会化により、入居者の生活の質の向上を試みるという目的です。

本展では、タイトルを『ART DIVERSEUM 草間彌生展』と称し、美術館をメイン会場として、2棟の高齢者施設を加えた全3会場を一つの企画展として構成しました。フォーエバー現代美術館では南瓜から派生する様々な作品を、有料老人ホーム・ソフィーでは、版画作品による草間氏が表現した花、鳥、蝶、風景、街並という花鳥風月をテーマにした展覧会を、高齢者優良賃貸住宅「ほのか」では、帽子やハイヒール、ネットなどを含めた様々なモチーフによる草間世界の多様な世界を展示します。これら3会場による『ART DIVERSEUM 草間彌生展』では、作家の幅広いモチーフ群が一堂に会します。

本展では、新作と大型彫刻作品に加え約90点に及ぶ版画作品を通じて、世界的現代美術家、草間彌生氏の世界へと皆様をご案内します。草間氏が繰り広げてきた、無限の創作活動の一端を深く体験していただければ幸いです。

フォーエバー現代美術館  
チーフキュレーター 加藤 淳